

4年 図工

すてきなフラワーショップ

番組名 「キミなら何つくる？」

放送回 第1回 えがこう！感じてフラワー

実践者 北海道札幌市立新琴似北小学校 教諭 安井 政樹

番組の使い方

活用のねらい

番組を見ることで、作品作りにたいするイメージをもち、自分なりの表現を考えられるようにするとともに、やってみたいという意欲を高める。
また、指をつかって描く表現の方法について知る。

視聴させる番組やクリップと活用のタイミング

まるごと視聴（10分間）・授業の導入時

単元のねらいについて教科書を使ってオリエンテーションした後に、番組をまるごと視聴する。視聴後は、番組終末の児童の作品例の場面で一時停止をして提示しておく。

授業の概要（2時間扱い）

単元の目標

表現方法を楽しみ、形や色をくふうして絵に表す。

単元のオリエンテーション（5分）

- 教科書を使って単元の目標を説明

番組視聴（10分）

- 作品のイメージをもつ
- 制作の見通しをもつ

感想交流（5分）

番組を見て思ったことや学んだことなどを小グループで交流する。

作品づくり（60分）

- 自分が考える花のイメージを思い浮かべる。
- 表現を工夫する。
（色や形・塗りかた）

作品鑑賞（5分）

- 友達の作品を鑑賞し、その絵から感じるイメージを交流しあう。

感想記述（5分）

- 作品づくりをしてみて、自分の感想と鑑賞して友達の作品を見た感想を書く。

生き生きと学ぶ子どもの姿

「やってみたーい。」「すごーい。」というつぶやきながら視聴している子が多くいた。

「指で描くのがたのしい」「きれいな色ができてきた」など、初めての表現方法を楽しんでいる子が多くいた。

「今までで一番うまくできた」「家に早く持ち帰って飾りたい」と作品づくりに満足した子も多かった。

自己評価によると、いつもより描きたい絵のイメージを考えやすかったという児童がおよそ80%いた。

番組の中での会話を生かして、互いに作品を味わいながら作品制作をしている様子が見られた。

指導を終えて

指を使って絵の具で絵を描くことを楽しんで、自分なりのイメージした花を意欲的にかく姿が見られた。

「かいてみたい！」という意欲と「指で花をかく」という表現方法の二つのことを番組から学ぶことができたと考えられる。

